



れんげ畑

～ 結 の 学 校 ～



12 月号

人権について考える

～大人の姿が子どもを育てる～ 校長 永塚 壽一

いろいろな行事の復活に、子どもたちのたくさんの笑顔が見られた2学期でしたが、保護者の皆様には様々のご協力をいただき心より感謝申し上げます。また、運動会やクリーンデー、バザー、資源回収、HP の行事ブログの更新など、PTA 役員の皆様には大変お世話になりました。重ねて感謝申し上げます。

さて、暦も最後の一枚となりますが、12月4日～10日は、「人権教育週間」と定められています。これは、昭和23年（1948年）12月10日に、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されたことをもとにしています。

法務省の HP では、「今なお、いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障害等を理由とする偏見や差別、ハンセン病問題など、様々な人権問題が依然として存在しています。これらの問題を解決し、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動を取ることが大切ではないでしょうか。」と続けています。



今月の全校朝会でも、この人権について子どもたちに話をします。子どもたちにも「人権の意味」がわかるように説明するための準備をしている中で、神奈川県秦野市の HP 上の、

人権は、人が人として、その社会の規範の中で自由に考え、自由に行動できる権利です。すべての人が、生まれながらにもっている権利です。

という言葉に出会いました。とても分かりやすい言葉です。その言葉を引用しながら「この人権を守るために、一人一人が考えていくこと。そして自他の人権を守っていくために、「自分がされて嫌なことは、人にしない。」「されてうれしかったことをたくさんする。」ことについて話をしようと考えています。

社会規範の中で、自分も他の人も気持ちよく過ごせるように、まずは私たち大人が範を示していかなければなりません。子どもは大人の姿・背中を見て育ちます。人権について家族でも考え、人権を意識した行動がとれる 12 月になるようお願いします。